

## FD委員会・基礎教育部会

## 平成21年度のSEおよびアンケート等を受けた教育改善点

科目	改善内容	改善の動機・理由・インパクト等					
		部会等の提案	学生SE・アンケート	自治会等要望	担当教員要望	事務局提案	その他
基礎ゼミナール	できる限り学生の希望に即したクラス編成ができるよう、またクラス間の受講者数のアンバランスをできる限り減らせるよう、以下の2点について実施した。 ①開講クラス数を79→81に増やした。これにより、学生の選択の幅が広がり、結果的に学生の希望に応えることのできる可能性が増した。 ②過去数年間のデータを基にして学生の希望状況を分析し、希望状況に即した曜限別のクラス配置目標を決め、概ね目標どおりの配置を行った。	○	○		○		
	授業の質を向上させるとともに、学生に魅力的かつわかりやすいシラバスの作成に反映できるよう、基礎ゼミナール懇談会の日程をシラバス提出期限(12下旬)より前の12/10に実施した。また、授業実践例に基づく意見交換と授業改善を図るため、授業内容に関する話題提供を昨年度の1件から2件に増加した。その議論を踏まえ、一部の教員が授業内容とシラバスを大幅に見直すなどの具体的な改善事例も見られた。	○	○				
実践英語	NSE授業で使う英語フレーズ集の改訂	○			○		
	NSE新教材の開発(新教材による授業、22年度より本格実施)			○	○		
	NSE授業の視察・参観			○			
	NSE授業の休講に伴う代講の試験的实施	○	○		○		
	統一試験実施に係る負担の軽減				○		
	非常勤講師説明会の開催時期の変更	○			○		
情報科目	教室の更新を行った(1号館350教室)	○			○	○	
	平成21年度情報リテラシー実践の学習内容を取りまとめた	○	○		○		
	eラーニングシステムを学習支援のため活用した	○			○		
	授業評価アンケートをeラーニングシステムを用いて行った	○			○		
	時間割の学部学系ごとの配置コマを統合した	○		○			
	レディネス調査を実施し、分析を行った	○			○		
	情報リテラシー実践ⅡBで画像と音を扱うクラスを設けた	○	○		○		

科目	改善内容	改善の動機・理由・インパクト等					
		部会等の提案	学生SE・アンケート	自治会等要望	担当教員要望	事務局提案	その他
都市教養プログラム	「テーマ・系に関する卒業要件の緩和」「基礎教育科目(その他の教養科目)の都市教養プログラムへの編入」「複数のテーマに関する科目のテーマの一本化」の平成21年度入学生からの実施	○	○	○			○
	「(旧)基礎教育科目(その他教養科目)」での授業評価の実施	○					
	「(旧)基礎教育科目(その他教養科目)」に成績評価の公正化に関する申し合わせを拡張	○					
	科目の一部廃止と科目名の変更	○			○		
	原則外時間割配置	○	○	○	○		
	受講生数の適正化のため同一科目の複数コマ開講と学部・系の指定	○	○	○	○	○	
	受講者の多い科目へのティーチング・アシスタントの配置	○			○	○	
理工系共通基礎科目	11号館、12号館の教室で液晶プロジェクター設備、LAN設備の改善が進んだ。	○			○	○	
	成績評価分布の科目による偏りを少なくし、GPAの公平化をさら進めた。	○			○		
	SE結果に基づき、学生の自学自習時間の増加を促す教授上の工夫を紹介、交流する働きかけを強めた。	○	○		○		
時間割	実践英語再履修クラス数の見直し	○			○	○	
	基礎ゼミナールの適正な曜日別クラス配置	○	○		○	○	
	都市教養プログラムの初回授業「45×2」試行の検討	○	○	○		○	
シラバス	各回の授業内容の明確な記載の徹底	○	○	○		○	
	「授業担当者の手引」へのシラバス作成例の掲載	○			○	○	
その他	Web入力による採点表作成の試行(全学共通科目)	○			○		